



ロングブラックパートナーズ株式会社

中小企業再生支援フォーラム2024

「事業再生可能性の見極め」

# 事業DD入門

2024年10月29日

## 本研修の狙い

再生業務における事業DDの位置づけ、  
事業DDの調査内容を理解する

1

内部環境分析、外部環境分析  
それぞれの分析の切り口を理解する

2

事業DDを閲覧する際の  
ポイントを理解する

3

# 目次

---

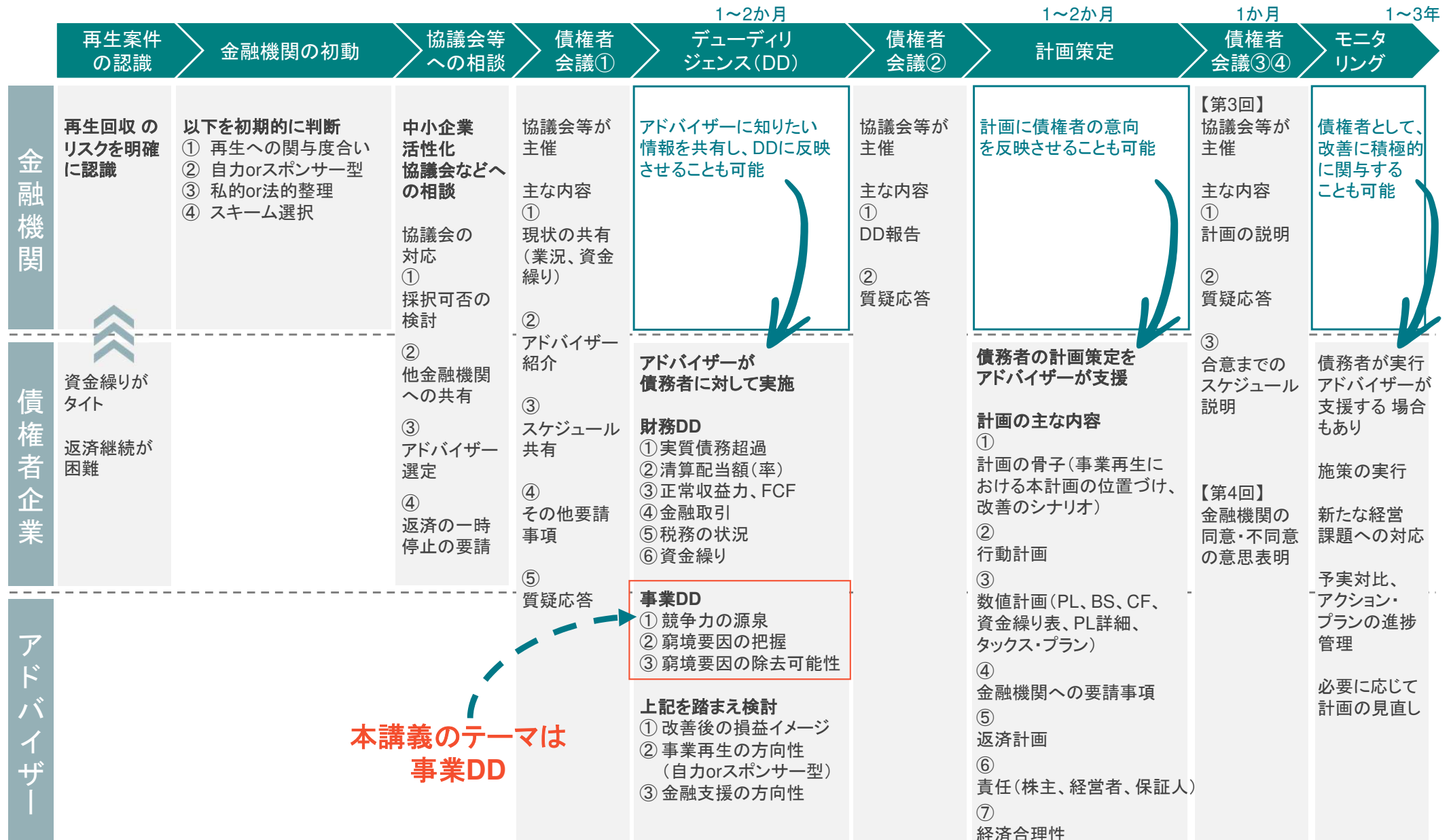
1. 事業DDとは？/事業DDの位置づけ	P.3
2. 内部環境分析 事例を見てみよう	P.11
3. 外部環境分析 事例を見てみよう	P.36
4. 良い事業DDのポイントとは？	P.53

本講義で取り上げる事例は、実際の案件を模していますが  
企業名・人名などは全て架空のものです

# 1. 事業DDとは？/事業DDの位置づけ

---

# 事業再生のスケジュール(自力型)



## そもそも事業DDとは？

事業DDは、事業再生のためだけに行われるものではない

そのため、先ずは普遍的な事業DDの定義を理解することが大切

## 事業デューディリジェンスを実施する目的

対象事業における

「内部環境」および「外部環境」について

過去・現在・将来の視点で分析することにより、



事業がこれまで価値(＝キャッシュ・フロー)を生んできた仕組みを理解したうえで、

事業がこれから価値(＝キャッシュ・フロー)を生む仕組みを洞察し、

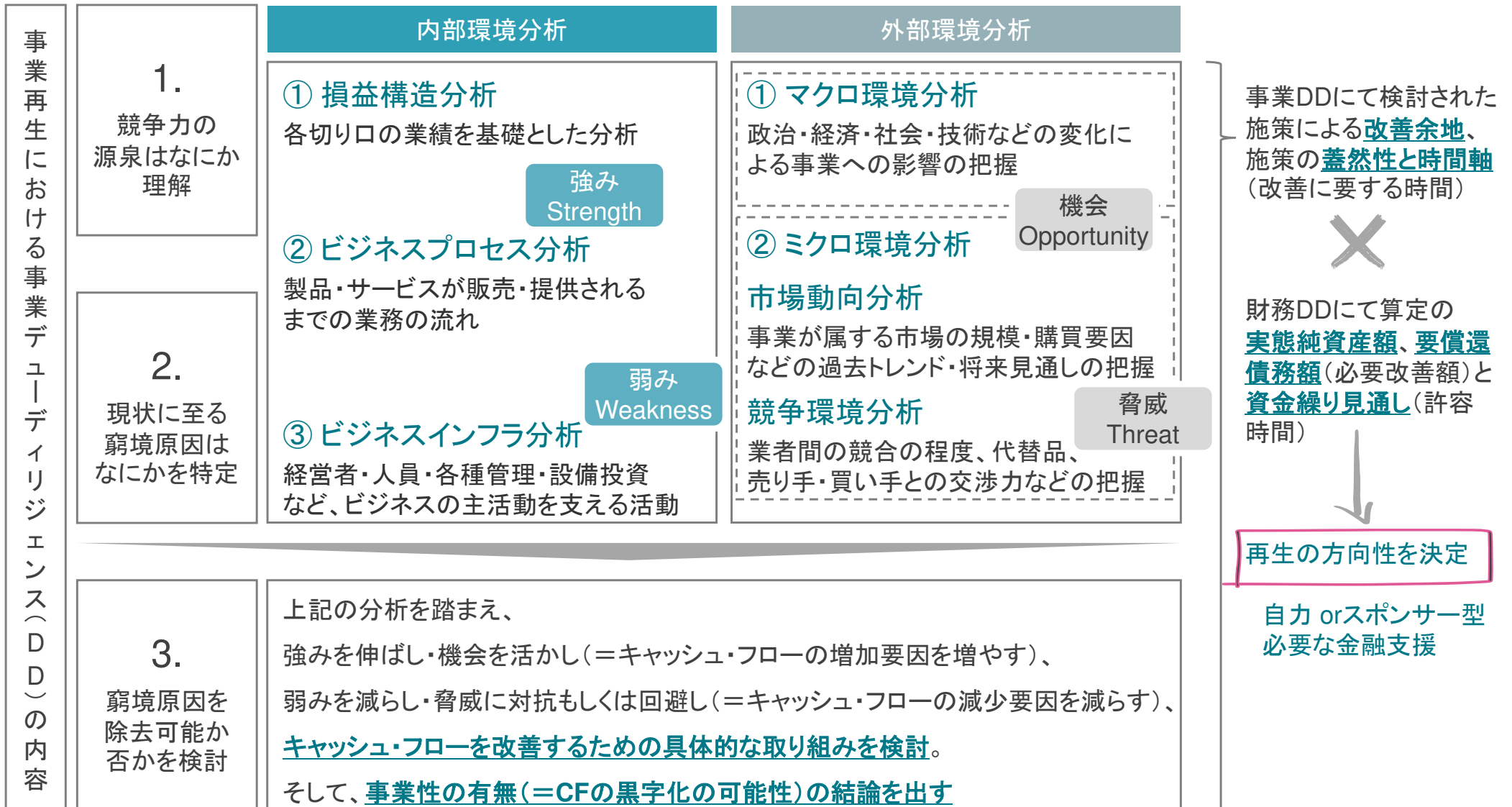


事業がこれから生み出すであろう価値(＝キャッシュ・フロー)を、

客観的かつ定量的に判断するために、必要な分析結果を提供するための調査

# 事業再生における事業DDとは？

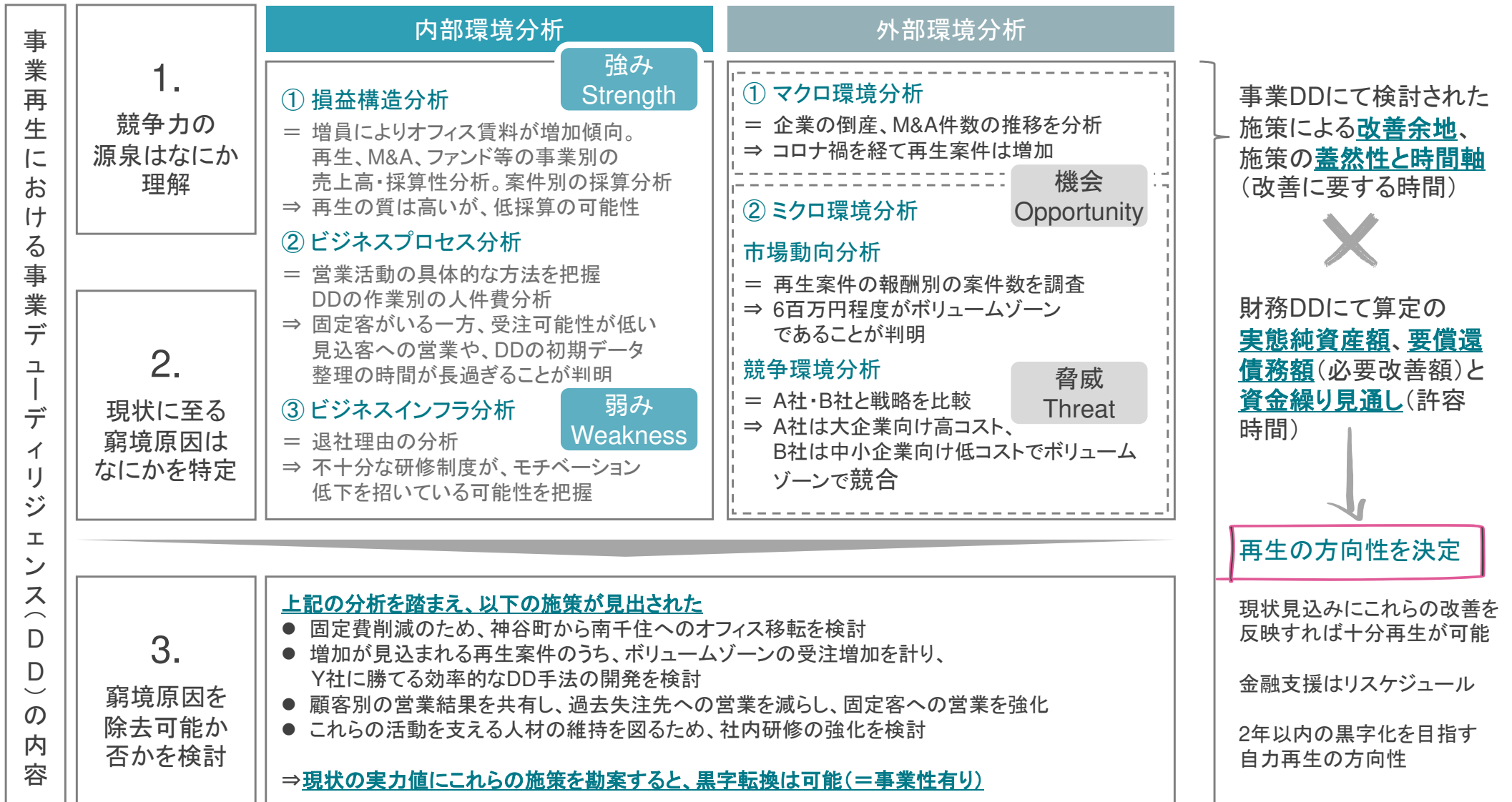
事業再生における事業DDの役割は、「強み」や「課題」等を把握し収益改善の可能性を検討すること  
また、上記を踏まえた事業性の有無を判断し、事業再生の方向性を検討する材料を提供すること



# 事業再生における事業DDの検討イメージ

例えば、皆さんは総勢100名程度の財務アドバイザーのコンサルティングファームの幹部

当期は赤字決算となったため、来期の巻き返しへ向け反省会をすることにした。さあ、何を分析する？



現状見込みにこれらの改善を反映すれば十分再生が可能

金融支援はリスケジュール

2年以内の黒字化を目指す自力再生の方向性